

In love with Buddha

Legend of MYOE

レジェンド・オブ・明恵

釈迦に恋して

明恵上人

釈迦

「鳥獣人物戯画」で有名な京都・高山寺を開いた鎌倉時代のお坊さん、明恵さん。40年間夢の日記をつけ続けたり、仏教への覚悟を示すために耳を切ったり、島に手紙を書いたり、さまざまなエピソードが残る明恵さんの魅力を紹介します。

企画制作：九州国立博物館

MYOE 明恵上人
プロフィール

●出身地：和歌山●職業：お坊さん●趣味：夢日記、和歌●尊敬する人：仏教の開祖お釈迦さま(父として慕う)、すべての仏を生む仏眼仏母(母として慕う)●好きな動物：犬●行きたい場所：インド●特技：超能力●長所：行動力がある●短所：周りから理解されない行動をとることがある●信頼する人：喜海(きかい、一番弟子)➡



イタ〜い明恵さん

喜海
明恵の一番弟子



師匠、その腕の傷はどうしたんですか？



あぁ、これが。子どものころ、自分で焼きを入れたんじゃ。



えっ！師匠、昔はワルかったんですか？



そうじゃない。子どものころ、わしがあまりにもイケメンじゃったから父に宮中みやうちゅうに送られそうになったんじゃ。宮中で働きたくなかったわしは、醜みにくくなればいって考えたんだな。火箸を焼いて顔につけようとしたんじゃが、怖くなつた。おかげで今でもイケメンじゃ。ははは！



ははは、じゃないですよ！



それで、試しに腕に押し当てたら、ア〜チ〜チ、ア〜チ〜じゃ。あまりに熱くて泣いてしまった。だから顔に傷をつけるのはあきらめたんじゃ。ま、ちょっとした武勇伝じゃ。ははは！



……。



明恵上人 4歳

※危ないので、マネしないでね！

美男子のせいで宮中に入れられそうになった明恵さん。4歳のころからお坊さんになる決意をしていたため、宮中入りを阻止しようとして考えた妙案は、自分の体に傷をつけること。縁側から落ちたり、焼き火箸で顔を焼こうとしたりしました。どちらも失敗に終わりました。

あんなに夢こんな夢

明恵



はっ!!今すごい夢を見たぞ喜海。さっそく『夢記』に記録せねば!

喜海



いつもの夢日記ですね。私にも見せてください。う〜ん、やはり仏さまがよく出てきますね。



そうじゃ。夢の中で仏さまからお経をいただいたこともあったな、あの時は感激のあまり枕が涙でびしょびしょだったのう。



へー。おや、タコを追い払ったり、ヘビがでてきたり、仏さま以外の夢もありますね。



意味のない夢に思えるかもしれんが、夢は起きているときと同じ意味のある体験じゃ。わしはできる限り書き残しておる。



ちなみに今日の夢はどんな夢だったんですか?



おお、それはの〜。いい夢じゃった。女人が出てきての、ふふ♡♡♡



なぜ笑っているのですか師匠!え、それ書いちゃって大丈夫なんですか?師匠!!



明恵さんの夢は、宗教的なものや日常のもの、色っぽいものまで様々。どんな夢も内容を隠さず『夢記』に記録しています。明恵さんにとって夢は単に寝ている時に見るものではなく、現実の体験と同じくらいに大事なものなので、夢のお告げに従ったり、夢の意味を考察したりしています。

父上はお釈迦さま♡

喜海 今日二月十五日はお釈迦さまの命日の法要。師匠、気合い入ってるなあ。

明恵 うっうう…。お釈迦さま…うっうう。

うわ！師匠がお経を読みながらむせび泣いておられる！法要の途中なのに！…こは私が続きを読みます。お休みください。

うう…。お釈迦さまが亡くなったことを思うと涙が…。わしは何でお釈迦さまと同じ時代に生まれなかったんじゃない！インドにもいけないし…悲しい…。

師匠は本当にお釈迦さまを愛しちゃってますね！。

幼いころ両親を亡くしたわしにとっては、**お釈迦さまは父**のようなお方なんじゃ。ああ、お釈迦さまの説法、聞きたかった…。



お釈迦さまの像に「愛する息子より」という手紙を書くほどお釈迦さまを慕っていた明恵さん。お釈迦さまの命日に行う法要、涅槃会ねはんえに使用するテキスト「四座講式しざこうしき」を自作するくらい気合いを入れていました。

きゃー！耳切り事件

明恵



「すきすきよ すきすきすきすき お釈迦さま」…。うーん
どうかなあ。

喜海



どうしたんですか師匠？



いやあ、大好きなお釈迦さまのことを和歌に詠んでみよう
と思っとな。



師匠は本当にお釈迦さまのことが好きですね。



激ラブじゃ♡ お釈迦さまへの熱い想いから、わしが母
のように慕っている「**仏眼仏母像**」の前で自分で右耳を
切ってしまったぐらいだからの。ははは。



そ、そうでしたね。しかしなぜ…？



耳を切ることで**俗世の欲から離れることができる**
と考えたからじゃ。全てはお釈迦さまの仏道を極めるため
なのじゃ。喜海もやっつくか？



全力で、遠慮させていただきます!!!



※危ないので、マネしないでね！

僧侶が容姿に執着することに対して明恵さんは嫌悪感を抱いていました。そこで自分の耳を切り、容姿を変えることでこのような欲から離れようとしたのです。また、仏眼仏母という仏さまのことを母と慕い、その仏さまを描いた「**仏眼仏母像**」に、母へのすぎるような想いを直筆で綴りました。

インド行きたい！

明恵



あゝ、インドいきたいの〜。インドはお釈迦さまが生まれた国なんじゃ。

喜海



鷹島たかしまで拾った石がぴっかぴかになるくらい、なでていますもんね。



遠くインドの海と日本の海はつながってる。同じ海の水で洗われたこの石にはお釈迦さまの面影が残ってるんじゃ。お釈迦さま〜♡ よし、今日は**インド旅行計画**を立てるぞ！喜海、紙と筆を持ってきてくれ！



ただいまっ！



唐の長安を出発してインドまで、8千里くらいだから、1日8里歩くとおよそ千日かかるのか。正月一日に出発した場合、え〜と、3年目の10月10日着か。1日7里だと…。



4年目の2月20日ですね。



1日5里歩けば…。ううううう(涙)。行きたいのう、**絶対行きたい！**



師匠はお釈迦さまのこととなるとセンチメンタルになりますよね。

唐の長安を出発して
インドまで8千里
1日8里歩くと
およそ
千日…
正月一日に出発
すると3年後の
10月10日着……



* 8千里は現在の約3万キロ。

お釈迦さまを父と慕っていた明恵さんは、インドへ行きたいと願っていました。仏法を求めてインドまで旅した三蔵法師(玄奘三蔵)の日記などを参考に、唐の長安からインドの王舎城ラージャギル(ラージギル、古代インドの摩訶陀国マハトの都)までの綿密な行程表を作りました。

インド行き断念

明恵



お経よし、袈裟よし、地図よしつ。とうとうインドか。旅行計画も作ったし、あとは下痢止めを入れれば準備完了じゃ。お釈迦さま、待っててくださいね〜！喜海、お前もぼーっとしとらんで、とっとと準備せんか！

喜海



は、はいっ！

イテテテテ。脇腹が…、背中も痛い！インド行きの話をすると体中に激痛が走るんじゃ。



大丈夫ですか、師匠！



これは行くな、というお告げかもしれん！こうなったら、くじで決めよう！



くじですね、至急作ります！「行くべし」「行かざるべし」はい、できました！



では、引こう。えいっ！「行かざるべし」じゃ！残念無念…！！



残念です！



お釈迦さまが生まれたインドにどうしても行きたかった明恵さんは、生涯に二度、インド行きの計画を立てます。ところが二度ともインドに行かないほうがよいという春日明神かすみがひあきみのかみのお告げで、泣く泣く断念しました。

Dear 鳥殿

明恵



「ご無沙汰しております。ずいぶんお会いする機会がなく、残念です…。鳥殿へ」よし、できた。この手紙を苅磨島に届けてくれ。

喜海



鳥のどなたに？



鳥といったら鳥じゃ。ほら、ここに「鳥殿へ」って書いてあるじゃろ！



は??鳥って、アイランドの鳥？



イエース。カルマ・アイランド。お前とわしが昔修行していた苅磨島じゃ。わしの大事な友達なんじゃ。



友達…。わかりました、鳥へ届けばいいんですね。それで、鳥に持って行ってこの手紙をどうすればいいんですか？



「明恵からの手紙です」と大声で言って捨ててくればばいいんじゃない。



明恵さんは手紙の中で鳥のことを「本当に心が通じ合う友達はあなたです」といっています。鳥だけでなく、木や石、動物なども同様に考えていました。海の魚や貝を救済するためにお経をあげた、というエピソードも残っています。

Legend of MYOE

エスパー明恵さん!?

明恵



ああ!!竹やぶにいる小鳥が鷹に食われかけておる!追っ
払って助けるのじゃー!

喜海



ええ——!?いきなりどうしたのですか?今まで静かに
坐禅していらっしゃったのに:しかもここからでは、竹や
ぶの様子なんか一切分からないですよ!?:まさか師匠は
透視ができるんですか!?



そうじゃ。何もたいしたことではない。わしのように仏の
教えを突き詰めれば誰でもこのように自然となれるのじゃ。
喜海も修行に励むのじゃよ。



はい!:(…か、かげで悪いことをしたら透視されそうだ…。
これからは自由奔放ほんぽうに振舞わないうう気をつけよう…。)



(にっこり)



(まさか心まで読めるの!?)



透視中



明恵さんは離れた場所の様子を察知することができる、不思議な力を持っていました。そしてその力で、遠い場所で危険な目にあっている動物を、何度も助けてあげました。弟子たちはこのことを知ると自分達の行動を改め、自由に振る舞わなくなったといひます。

明恵さんと仲間たち

明恵



むむ！何じゃこれは？喜海、おぬし浄土宗を知っておるか？

喜海



最近流行の宗派ですね。なんでも、念仏を唱えれば救われるとか。



けしからん！わしは色々な宗派と交流して勉強しておるが、そんな教えは認められん！あの法然殿がこんな教えを広めるとはショックじゃ…。



えー。でも民衆には人気あるんですよ。師匠の考えはちよつと保守的ですし。



き、喜海、おぬしまで…！わしの考えの方が古いの？ナウくない？



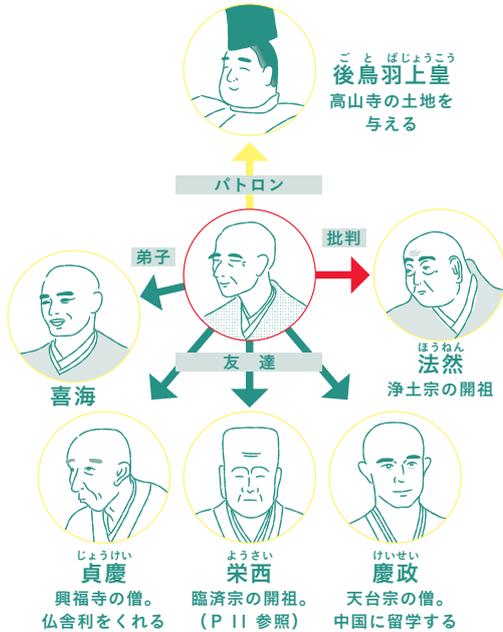
いやいや、でも師匠を支持してくれる方もいるじゃないですか！



はっ！そうじゃった。後鳥羽上皇さま、栄西さん、貞慶さん、慶政さん…。わしには**仏の教えでつながった友**がおる…！



師匠が仏道に対していつも真剣だから、みなさんついて来てくれるんですよ。



明恵さんの生きた鎌倉時代は、浄土宗など新しい仏教の宗派が開かれました。明恵さんはこれらの宗派に比べると保守的な立場でしたが、仲が悪いということはありませんでした。浄土宗の法然さんのことは尊敬していたものの、その教えだけは納得がいかなかったようです。

お茶で気分爽快！眠気打破！

明恵



あー、おいしい。お茶というのは本当に眠気を覚まし、気分を爽快にしてくれるなあ。

喜海



そうですね。日本では普及していない「お茶」を師匠に紹介してくださった、中国帰りの栄西さんには感謝ですね。



そうだ、この梅尾つばなのおの地に茶園を作り、たくさんのお僧侶にもお茶を飲ませよう！



さすがお茶を飲んでいるだけあってアイデアも冴えてますね！師匠！…ん？…師匠？



くかー



寝てますやん！！



栄西さん

臨済宗の開祖である建仁寺の栄西さんは中国から持ち帰ったお茶の種を明恵さんに贈りました。明恵さんはお茶が座禅中の眠気を覚まし、気分をすっきりとさせてくれることに大変驚きました。その後、日本初のお茶栽培を高山寺で始め、多くの僧にお茶を勧めました。

動物大好き！明恵さん

明恵



おー、よしよし、よーしよしよし。この子をなでているだけで幸せな気持ちになれるのう。この、前足と胸元のむちっとした表現、完璧。^{*慶派}わかっている！

喜海



彫刻の犬で幸せになれるとは…。師匠は犬好きですね。



犬だけではないぞ。生きとし生けるもの、全て仏なのじゃ。虫や鳥、馬や牛たちもみな、仏となる素質を持って修行しておる。軽んじてはならんぞ。



なるほど!!さすが師匠、深いですね!



ほれ、ご覧。わしが仲良くしとるタツノオトシゴ(死骸)殿じゃ。この方も仏と同じ尊い方じゃ。



…深いですね。



*慶派…仏像の彫刻家の一派。

子犬像は明恵さんがそばにおいて可愛がったと伝えられているものです。明恵さんは鳥や牛、馬などの動物にも人に対するように敬意をもって接していました。

唐美人に恋をする♡

喜海



師匠、何ニヤニヤしているんですか？

明恵



ふふふ。善妙ぜんみょうさん♡♡♡どうじゃ、この絵巻、よくできてるじゃろ。



師匠がこないだ作らせた「華嚴宗祖師けごんしゅうそし絵伝えでん」ですね。あれ？この義湘ぎしやうっていうお坊さん、師匠に似てませんか。



そうかの？ふふふ。



これはどういう場面なんですか？



イケメンの義湘が、唐美人の善妙さんに告白されるシーンじゃ。私を連れてって。ふふふ。



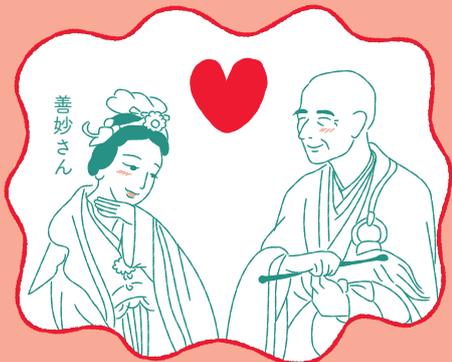
まさか師匠、この善妙さんに恋してるんじゃないですか？夢にも善妙さんが出てきましたよね？仏の道に通じる師匠が恋などは…。



何を言う！愛がわからん者にどうして仏教がわかるというんじゃ！修行が足りん！



精進します！



仏教では、愛は煩惱であると考えられるため良くないとされています。ところが明恵さんの考えは違っていました。愛する心がなければ、仏道を志す人とは言えない、と「華嚴宗祖師絵伝」の最後に書いています。

十よつなら明恵さん

明恵



喜海よ、わしが60歳でこの世を去ったときの話を教えてくれんかの。

喜海



はい。師匠が亡くなる前後は独特な香りが漂っていました。



え!? わしニオってた? ごめんね。



いえ、そうだったことではなく、とても良い香りが立ち込めていました。あと、亡くなる時は穏やかな微笑をたたえられていましたよ。



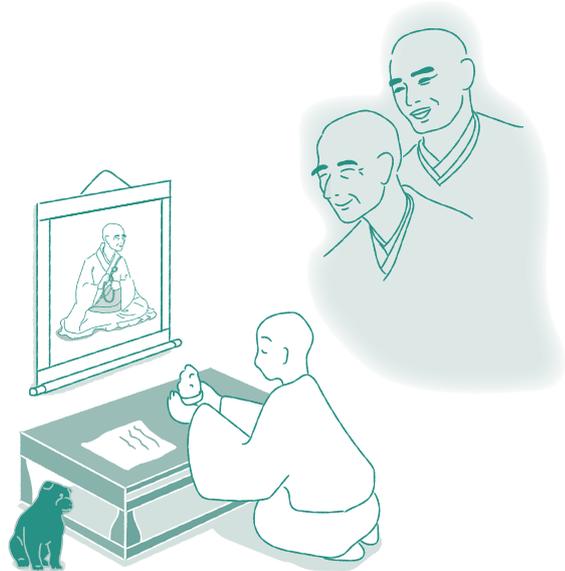
よかったー、いい香りです。



そのあとは弟子たちで、師匠の生前と同じようにお経や香炉や水瓶すいびょうを置き、朝、昼のご飯も毎日お持ちしていたんですよ。

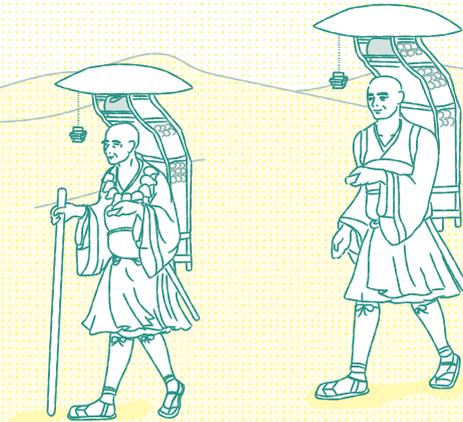


そうか、よい弟子たちを持てた事に感謝じゃなあ。



明恵さんが亡くなる前には彼自身を含め、多くの人が彼の死を暗示させるような夢を見ました。また彼が亡くなる少し前から良い香りがたがよい、それは葬式後も数日間消えなかったといえます。死後は弟子たちによって彼の伝記や、和歌集がまとめられました。

Legend of MYOE



(イメージ)

お釈迦さまが生まれた
インドを目指す明恵と喜海

明恵さん体操第一

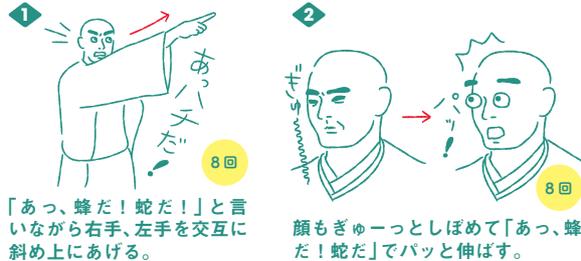
私、喜海といっしょにストレッチ！座ったままでもOKです！
ゆっくりと、無理のない範囲で行いましょう



インド行きたいけど、体が痛くて行けない体操



エスパー明恵さん体操



子犬かわいい～体操

